

物ノ怪

平家軍

者ノ不

源氏軍

義経四天王

**銀狼丸**  
(ぎんろうまる)



平家の子飼いの物ノ怪。菊王丸と仲が良く、いつもじゃれているが、性格は対照的で穏やか。知盛にも非常に良くついでいる。

**菊王丸**  
(きくおうまる)



平家の子飼いの物ノ怪で、知能は低いが非常に高い戦闘力を持つ。教経を心から慕っている。無邪気だが非常に好戦的な性格。

**平知盛**  
(たいらのとももり)



故・平清盛の四男。性格は非常に穏やかで頭脳明晰。他の兄を立てながらも、実質上の平家頭領として信頼が厚い。  
持てるチカラ：「心読」  
顔に手を触れることで相手の心の中を読み取ることができる。

**伝内教能**  
(でんないのりよし)



平家一門の出ではないながらも、知盛や教経から絶対的な信頼を受けている者ノ不。伊勢三郎の幼なじみでもある。  
持てるチカラ：「封力」  
相手に触れている間は、そのチカラを完全に押さえ込む。

**平教経**  
(たいらののりつね)



故・平清盛の甥、通称ノリと呼ばれ親しまれる。顔も美しく長身で細身にもかわらず、平家史上最強と謳われ、平家の鬼と呼ばれる。  
持てるチカラ：「予知夢」  
予知夢を活かし平家を勝利に導いてきた。

**梶原景時**  
(かじわらかげとき)



もとは平家の武将であったが、石橋山の戦いで頼朝を逃がし救う。以後、頼朝の信頼厚い側近となる。  
持てるチカラ：「心眼」  
他者の精神状態を混乱させることが出来る。

**北条政子**  
(ほうじょうまさこ)



頼朝の妻。北条家の正當な血筋とチカラを受け継ぐ、非常に高い能力を持つ異能力者。義弟である義経のチカラを怖れ、疎ましく思っている。  
持てるチカラ：「心眼」・「夢見」など  
「心眼」により者ノ不のチカラを測ること、「夢見」により他者の未来を予知することが出来る。

**源頼朝**  
(みなものよりとも)



義経の兄。源氏一族の正當な後継者であり、父・義朝の死後、一族の重点に立つ。源氏以外の者ノ不を一掃し平家を滅ぼすこと、源氏の世を再興させることが自身の存在理由だと強く信じている。  
持てるチカラ：「侵食」  
他者の心に入り込み、畏念を植え付け残すことで、その意志を意のままに操ることが出来る。

**佐藤嗣信・忠信**  
(さとうつぐのぶ・ただのぶ兄弟)



義経四天王に名を連ねる兄弟。もとは東北の鎮守府将軍・藤原秀衡に仕え、義経を監視するための間者として義経に同行していたが、いつしか義経に心奪われ、運命を共にすることを誓う。  
持てるチカラ：「伝心」・「炎手」・「電手」  
兄弟間においては「伝心」により、距離や状況に関わらず思いのままに意志を疎通することが出来る。兄は「炎手」、弟は「電手」を操り、手の中で自由に火や雷を出現させることが出来る。

**武蔵坊弁慶**  
(むさしほうべんけい)



義経四天王の一人。類稀なる戦闘能力の高さを持ち、法術にも長けている。その昔、義経のチカラ「百鬼」を義経の身体に封じ込めた。好戦的な性格とは裏腹に涙もろく情に厚い、温かい心の持ち主。  
持てるチカラ：「怪力」  
他者の何倍もの力を瞬間的に発揮することが出来る。

**伊勢三郎**  
(いせさぶろう)



義経四天王の一人で、リーダ的存在。統率力があり、冷静に物事を判断する慎重派。義経同様、人間を差別することを嫌う。  
持てるチカラ：「手充」・「桜花」など  
「手充」により手を傷口に当てることで他者の傷を治すことが出来る。「桜花」によりつばみを一瞬で開花させることが出来る。

**闇** (えん)

実体の存在しない特殊な物ノ怪。木曾義仲が自分の命と引き換えに召喚したが、陰が刺し違え相打ちに。以降姿を消した。

**陰** (かげ)

義経に命を救われて以降、常に義経の側に憑き纏っていたことから「陰」と呼ばれている物ノ怪。以前は満月の夜に限って姿を見せていたが、闇との戦いで命を落とす。しかし、その魂は義経を心配してか未だ憑きまわっている。

**陽和** (ひより)



妖艶な美しさを纏う女の姿をした物ノ怪。以前は陰の側にいた物ノ怪の子飼いだっただが、陰の死後、子飼いとしての呪縛が解け姿が見えるようになった。急激な成長のせいか美しい声を失ったが、性格は極めて明るい。

